

平成 26 年度 広報・広聴特別委員会活動報告

1. 今年度の活動経過

本委員会は平成 23 年 5 月に設置され、開かれた議会の実現に必要な広報・広聴機能の調査・研究に積極的に取り組んできた。

今年度は下表のとおり、議会活動報告会の開催に関する協議や、その他広報・広聴に関する協議を行った。

	開催月日	調 査 内 容
1	平成 26 年 4 月 4 日	* 議会活動報告会の開催スケジュールに関する協議
2	5 月 2 日	* 議会活動報告会の反省 * 議会活動報告会での要望等の取扱いに関する協議
3	5 月 15 日	* 議会活動報告会の開催地区に関する協議 * 議会活動報告会での要望等の取扱いに関する協議
4	5 月 27 日	* 議会活動報告会の班構成・開催日に関する協議 * 議会活動報告会での要望等の取扱いに関する協議
5	6 月 10 日	* 議会活動報告会の班構成・開催日に関する協議
6	6 月 18 日	* 議会だよりに関する協議 * 議会活動報告会の案内チラシ配布に関する協議
7	7 月 7 日	* 議会活動報告会の資料に関する協議
8	7 月 14 日	* 議会活動報告会での要望等の取扱いに関する協議
9	8 月 19 日	* 議会活動報告会の反省
10	9 月 2 日	* 議会活動報告会の班構成の再編について
11	9 月 18 日	* 議会だよりに関する協議
12	10 月 31 日	* 議会活動報告会の反省
13	12 月 18 日	* 議会活動報告会の総合的な反省
14	平成 27 年 3 月 3 日	* 活動報告に関する協議
15	3 月 24 日	* 今年度の活動報告の総括

※その他、議会だよりに関する編集作業 10 回、計 25 回委員会を開催

2. 重点調査事項について

(1) 議会活動報告会

この取り組みは、平成 25 年度から実施し、年 4 回の定例会毎に市内 11 地区、年間 12 回実施してきた。平成 26 年度は、試行的に開催回数を変更し、2 定例会後に計 8 回開催した。

●開催場所・参加者数(人)

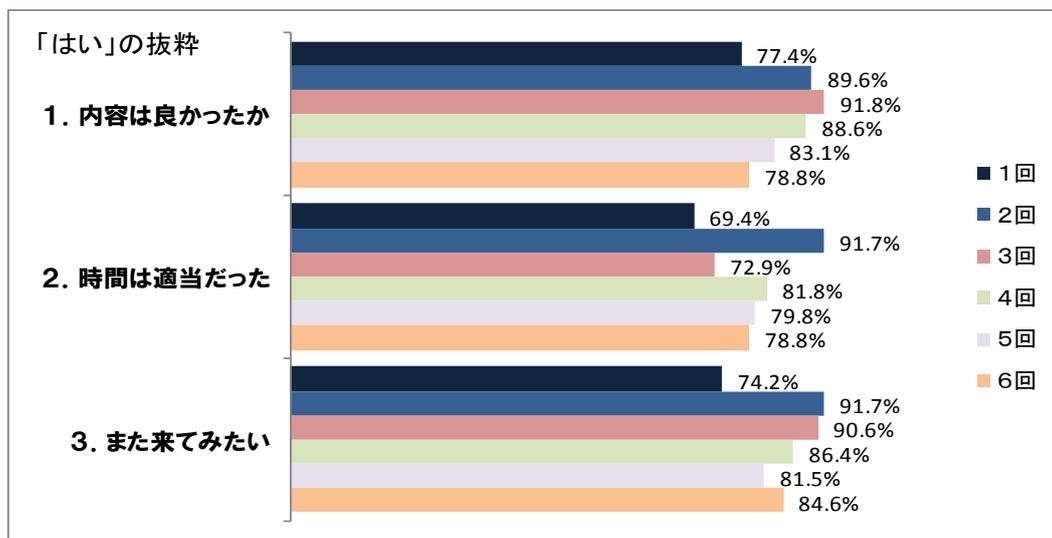
《議会活動報告会開催実績》

開催	地区	日程	会場	参加者数
第1回	川中地区	平成25年 7月29日	川中コミュニティセンター	18
	岡富地区	7月30日	岡富コミュニティセンター	52
	東海地区	7月31日	東海コミュニティセンター	110
第2回	北方地区	10月 2日	北方コミュニティセンター	36
	北川地区	10月 7日	北川町ホタルの宿	22
	南浦地区	10月 7日	須美江家族旅行村ビーチの森管理棟	24
第3回	恒富地区	平成26年 2月 4日	恒富南コミュニティセンター	49
	北浦地区	2月 5日	北浦公民館	18
	南方地区	2月 6日	南方東コミュニティセンター	88
第4回	伊形地区	4月14日	延岡市職業訓練支援センター	19
	岡富地区	4月14日	延岡市北老人福祉センター	48
	島浦地区	4月16日	延岡市島野浦島開発総合センター	24
合 計				508
平 均				42.3

開催	地区	日程	会場	参加者数
第5回	南方地区	平成26年 7月22日	南方東コミュニティセンター	95
	岡富・川中地区	7月23日	延岡市社会教育センター	15
	北川地区	7月23日	北川町ホタルの宿	23
	東海・南浦・島浦地区	7月24日	東海コミュニティセンター	78
第6回	伊形地区	10月15日	一ヶ岡コミュニティセンター	25
	北方地区	10月15日	北方コミュニティセンター	18
	恒富地区	10月16日	延岡市社会福祉センター	37
	北浦地区	10月16日	北浦公民館	37
合 計				328
平 均				41.0

● アンケート結果

内容	「はい」の抜粋				
	はい	いいえ	どちらでもない	無記入	
内容は良かったか	1回	77.4%	6.5%	4.8%	11.3%
	2回	89.6%	2.1%	4.2%	4.2%
	3回	91.8%	5.9%	0.0%	2.4%
	4回	88.6%	6.8%	0.0%	4.5%
	5回	83.1%	4.8%	0.0%	12.1%
	6回	78.8%	3.8%	1.9%	15.4%
時間は適当だった	1回	69.4%	0.0%	16.1%	14.5%
	2回	91.7%	0.0%	4.2%	4.2%
	3回	72.9%	3.5%	12.9%	10.6%
	4回	81.8%	0.0%	13.6%	4.5%
	5回	79.8%	4.0%	2.4%	13.7%
	6回	78.8%	5.8%	9.6%	5.8%
また来てみたい	1回	74.2%	12.9%	-	12.9%
	2回	91.7%	4.2%	-	4.2%
	3回	90.6%	1.2%	-	8.2%
	4回	86.4%	9.1%	-	4.5%
	5回	81.5%	7.3%	-	11.3%
	6回	84.6%	3.8%	-	11.5%
報告会への参加回数は	初めて		2回	3回以上	無記入
	1回	-	-	-	-
	2回	-	-	-	-
	3回	-	-	-	-
	4回	-	-	-	-
	5回	37.1%	40.3%	18.5%	4.0%
	6回	44.2%	32.7%	19.2%	1.9%



※表の数値は小数点以下を四捨五入としている。

●今後の対応

議会活動報告会の参加者数は視察調査等の結果から、回数を重ねるごとに減少の傾向にあるということだが、本市議会では会場ごとにばらつきがあるものの、25年度は一会場当たり平均42.3人、26年度は41人と大きな差はない。

そのため、開催地区の区長への案内文書の配布やホームページ、議会だより等を活用した周知方法については、良好な結果を得たものとする。

また、26年度は年度当初に大型ショッピングセンターにおいてチラシの配布を行ったところであるが、新聞報道にも取り上げられ、一定の宣伝効果はあったものとする。なお、周知方法の課題としては、若い世代にも参加してもらえる工夫が必要であるとの認識で一致した。

また、この取り組みに関する内容については、資料の見直し等、適宜改善を行った結果、開始当初に比べ中身の濃いものになってきたが、アンケート結果によると、高評価は微減の傾向にある。そのため、この取り組みに対して、市民が何を求めているかという視点を一層意識しながら、資料等を見直しを行っていく必要があると考える。

さらに、この取り組みは、議会にとって貴重な広報広聴の場であることから、議会基本条例に基づき、今後も、開催地区や会場など、必要に応じて見直しを加えながら取り組んでいく必要があると考えている。

(2)議会だより

本委員会では平成23年度に本特別委員会を設置した後、読まれる議会だよりを目指して、調査研究を重ねてきた。

これまでの主な改善点は以下のとおりである。

・平成24年度

i)2色刷りへの変更

白黒印刷から2色刷りに変更し、極力コストを抑えて紙面レイアウトにメリハリを持たせた。

・平成25年度

i)一般質問の質問項目の一部と顔写真の掲載

これまで、不明瞭であった「誰が何を言っているのか」がはっきりとし、また、議員の意識向上が図られ、ひいては議会全体の活性化につながることを目的として、顔写真と質問項目の一部の一覧掲載を開始した。

ii)委員会審査内容の掲載

これまで審議結果の一覧のみを掲載していた議案関係について、審査の経過を掲載することにより、審議結果だけでなくどのような審査が行われているかを「見える化」するように努めた。

・平成26年度

i)表紙写真のシリーズ化

年間の表紙写真をシリーズ化し、本市の観光スポットを採り上げ、親しみを持てる議会だよりを目指した。

ii)レイアウトの改善

文字数を変更し、写真やイラストを効果的にレイアウトすることにより、視覚的な読みやすさを向上させた。

●今後の対応

これまでの本特別委員会での協議により、議会だよりの紙面づくりについては改善されてきたところであるが、掲載内容については、議会活動の成果を一層意識した紙面づくりが必要となってくるものと考えている。

そのため、今後においても、引き続き市民に読まれる議会だよりを目指し、取り組んでいく必要がある。

(3)議会放映の充実

現在、本会議の一般質問等に関しては、ケーブルテレビやFMラジオによる生中継を行っているところである。

そのため、昼の時間帯に仕事などで中継を視聴することができない方は、自分で録画するなどの手段をとらない限り、後日視聴する手段がないという課題がある。

その課題を解決する方法の一つとして、インターネットを活用した録画配信が考えられるが、その方法として現在2つの手段が考えられる。1つ目は初期費用を投資し、システムを構築する方法である。2つ目は動画配信サービスを利用する方法である。本特別委員会としては、既にケーブルテレビやFMラジオによる中継を行っていることから、コスト面に配慮した形でインターネットによる録画放送で補完する方法が良いのではないかと考えているところである。

いずれにしても、多くの情報発信手段を備えることにより、市民が議会に触れる機会が多くなることから、全国的な導入状況や費用対効果等を十分検証し、導入に向けて引き続き協議を行っていく必要がある。

3. まとめ

議会広報広聴において最も重要なことは、議会が何をしているか分からないという課題を解消することであり、議会活動の内容及びその成果を市民に対して、いかにしてPRしていくかが重要であると考えている。

その課題の解消については、現在ICTを活用した様々な手法により、可能になっているところであり、次期改選後においても、議会広報広聴に関する協議がより深まり、円滑に進む体制を組織し、引き続き協議を行っていく必要があると考えているところである。

特に、議会活動報告会や議会だよりは、議会広報広聴の貴重な手段であることから、今後も継続して取り組み、また、議会放映の充実に関しては、本会議一般質問等の映像を後日視聴することを可能にするべく録画放送の実現に向けて協議を行っていく必要があると確認したところである。